

専門科目 日本語教育学・日本語学・日本文化学 （ 2枚のうち 1枚目）

### I. 用語選択問題

次のAの10問，Bの10問計20問の用語から、5問を選択して答えなさい。ただし、5問のうち少なくとも3問は、「日本語教育学」か「日本語学」を専門としたい人は「A：日本語教育学・日本語学」から、「日本文化学」を専門としたい人は「B：日本文化学」から選択しなさい。また、必ず5問選択し、6問以上選択してはいけません。

#### A：日本語教育学・日本語学

- (1) CEFR
- (2) ティーチートーク
- (3) 発話行為
- (4) 転移
- (5) 意味交渉
- (6) 異体字
- (7) 日本語の与格主語
- (8) 性差別語
- (9) ラングとパロール
- (10) 音象徴

#### B：日本文化学

- (11) 盆と正月
- (12) 浄土信仰
- (13) ナンバ
- (14) 紅白
- (15) アメリカかぶれ
- (16) 『ジャパンアズナンバーワン』
- (17) 『大国の興亡』
- (18) 『タテ社会の人間関係』
- (19) 『通産省と日本の奇跡』
- (20) 『武士道』

## Ⅱ. 論述問題

以下の問題については、大学院で専門としたい分野に応じて、「日本語教育学」か「日本語学」を専門としたい人は「A：日本語教育学・日本語学」の4問から2問を選択し、「日本文化学」を専門としたい人は「B：日本文化学」の2問すべてに答えなさい。

なお、解答にあたっては、それぞれの問題に1枚の解答用紙を用いること。

### A：日本語教育学・日本語学

1. 日本語教育の特徴の一つに多様性が挙げられます。これについて、社会状況と関連させながら、説明しなさい。また日本語教育の多様性は、ニーズ別の日本語教育として現れますが、それがどのようなものか、一般日本語教育と対比してどのように異なるかなどを、具体例を挙げながら論じなさい。
2. 翻訳では等価性が問題とされることがあります。外国語を用いたコミュニケーションにおいては、特にどのような種類の等価性が重要となるか、日本語と他の言語でのコミュニケーションを例に、具体的に論じなさい。
3. 日本語のローマ字表記について、学校教育では訓令式ローマ字を中心としながら、ヘボン式ローマ字と日本式ローマ字も一部採用されている。このように複数の表記法が併存ことになった歴史的事情について説明した上で、音声学における単音と音韻論における音素の違いを踏まえながら、訓令式ローマ字とヘボン式ローマ字の表記法の特徴とその現代的評価について、あなたの考えを述べなさい。
4. 品詞体系において、現代日本語のイ形容詞とナ形容詞は形態的・統語的なふるまいから見て動詞と名詞のどちらに近いか。それぞれについて例を挙げてその根拠を具体的に説明しなさい。その上で、なぜ日本語の形容詞が品詞として名詞や動詞とは独立に存在しているかについて、あなたの考えを述べなさい。

### B：日本文化学

5. エドウィン・O・ライシャワー『ザ・ジャパニーズ』について、その他の代表的な日本人論・日本論との関係から論じなさい。
6. チャーマーズ・ジョンソンをはじめとするリビジョニストたちの言説における特徴とはなにか、論じなさい。